



INNOVATOR'S GARAGE

Garage Nagoya Topics

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(愛称:ガレージ ナゴヤ)のスタッフが、ガレージ ナゴヤの活動やイベント、そこで活躍する人々を紹介するコーナーです。



Report 1

2019.08.01 Thu.
キッズ&ジュニアプログラム



Report 2

2019.08.29 Thu.
情報提供プログラム
フューチャーコンパス

Report 1 ロボットプログラミング体験

参加者:55名

名古屋市内および周辺地域の小学校高学年の児童を対象に開催。子どもたちは、身の回りにあるコンピュータ制御で動くもの(自動車や自動掃除機など)を事例にプログラムの概念を学んだ上で、キーボードを使い、自らの手でプログラムを入力してロボットを動かす体験をした。はじめは上手く動かなかったロボットも、プログラムの誤りを講師の指導で修正し、思い通りに動くと満面の笑みを浮かべて喜んでた。保護者からは、「“できた”という体験を積み重ね、自信につながったように思う」といった感想が寄せられた。

次回は、10月22日に小学校低学年の児童を対象に開催する予定。

Report 2 「中部圏イノベーション促進プログラム」第9回講演会

参加者:約100名

演 題 アマゾン ウェブ サービスが支えるクラウドを活用したイノベーション

講 師 アマゾン ウェブ サービス ジャパン(株)パブリックセクター営業本部長 おおとんべ 大富部 貴彦 氏

プロフィール/外資系大手SIerを経て、AWSに入社。AWSでは日本のパブリックセクターの立ち上げを担当し、現在は営業本部長として、政府機関、教育機関、医療機関、非営利組織などのお客様を担当。

講演要旨

アマゾンの世界売り上げは約25兆円。インターネット通販事業だけでなく、電子書籍やAIスピーカーなど、多岐にわたる事業がこの成長を支えている。2007年からの10年間で研究開発投資額は28倍に増加(参考:アルファベットは同期間で8倍に増加)し、約2.5兆円を充てて新しいサービスを生み出すことに取り組んでいる。

アマゾンの主力事業の一つが、クラウド・コンピューティングサービスを提供するアマゾン ウェブ サービス(AWS)。よく知られているAWSの事業は仮想サーバー※の提供であるが、蓄積されたビッグデータの活用、取得したデータの即時分析、機械学習などの技術を組み合わせて、顧客の新しい価値創出に貢献している。例えば、スポーツ中継ではセンサーやカメラからの情報をもとに、選手やボールの軌跡や速さを視覚的・定量的にリアルタイムで情報提供できるようになり、新しいスポーツ観戦のあり方を可能にした。

AWSでは昨年度、約2,000もの新サービス・機能改善を発表した。このような継続的イノベーションの源泉には、顧客視点で最適なビジネスを考える、スピードを重視するなどの企業文化がある。後で引き返せることについては、時には限られた情報をもとに前に進むリスクも取る。アマゾンは先駆者であり続けるために常に挑戦を続けている。

※仮想サーバー:各社それぞれが物理的なサーバーを持つことなく、一台のサーバーを複数台の仮想的なサーバーとみなして分割利用することで効率化する仕組み。